

CNA レポート・ジャパン

Conferencing News & Analysis, Report on Japan market - CNAReportJapan

創刊：1999年12月
発行日：毎月15日・月末
PDFによる発行

テレビ会議・ウェブ会議・電話会議システム市場専門トレンドワッチ

Vol. 23 No.11 2021年6月15日

製品・サービス動向-国内

■オーディオテクニカ:USB/Bluetooth 対応 スピーカーフォン「AT-CSP5」を発売

(6月18日)

株式会社オーディオテクニカ (<https://www.audio-technica.co.jp/>) (東京都町田市) は、オンラインでの Web 会議や通話を円滑にする、同社初のスピーカーフォン「AT-CSP5」を6月18日に発売する。



AT-CSP5 (オーディオテクニカ)

AT-CSP5 は、オフィスや自宅などさまざまな場所で高品質な Web 会議やオンライン通話がおこなえる USB/Bluetooth 対応スピーカーフォン。どこにいても相手にクリアな声を届け、普段通りに話せるところに特徴があるとしている。

音声のクオリティを向上させる3つの機能を採用している。発言者の声を自動的に追尾して收音する「ビームフォーミングマイク機能」のほか、收音された音そのものに対してエアコンやプロジェクタなどの環境騒音も低減する「ノイズリダクション機能」、マイクからの距離や声の大小にかかわらず一定の音量で相手に声を届ける「オートゲインコントロール機能」を搭載

している。加えて、マイクへの音の回り込みを低減する「エコーキャンセラー機能」もある。

また、本体には、360度全方位をカバーするマイクをスピーカーに4基配置。推奨距離は半径1メートル以内、最大2メートル以内となっている。推奨最大人数は6名まで一緒に通話できるようになっている。



AT-CSP5 使用イメージ (オーディオテクニカ)

本体は、USB ケーブルで PC に直接つなぐことができ、Bluetooth 通信 (Ver.5.0 準拠) で、Windows/MacOS を搭載した PC だけでなくスマートフォン・タブレットにワイヤレス接続も可能となっている。ワイヤレス接続では大容量バッテリーを搭載しているため最大約15時間使えるという。電池残量は、電源ボタンを押すことでいつでもチェック可能。8段階の白色 LED で表示されるため、残量がひと目でわかるようになっている。

同社では、“音”を通してユーザの生活をより良いものとするよう、高品質な製品をこれからも開発していくとしている。

■ブイキューブ：株主総会の完全オンライン開催をサポートする「バーチャルオンリー株主総会配信サービス」を提供開始

(6月9日)

株式会社ブイキューブ (<https://jp.vcube.com/>) (東京都港区) は、株主総会の完全オンライン開催をトータルでサポートする「バーチャルオンリー株主総会配信サービス」を2021年6月16日より提供開始する。

ブイキューブは2020年よりハイブリット参加型・出席型を実現する「バーチャル株主総会配信サービス」を提供しており、これまで、同社システムを活用しバーチャル株主総会を実施した企業との対話を通じて、バーチャル株主総会を滞りなく開催するために必要な機能開発、配信サポートの充実を図り、今年度は200社以上の企業での導入を予定しているという。

これまででは、会場を設置することを条件に、株主のインターネットでの出席、参加が認められていたが、今回の改正産業競争力強化法によって、経済産業省及び法務省両大臣の事前確認を受ければ完全オンラインでも開催できるようになった。

ブイキューブが今回発表した、バーチャルオンリー株主総会配信サービスは、法的な会議体として要求される要件を満たしながら、議長や取締役、監査役の役員は Web 会議などを通じてバーチャル株主総会に出席が可能になる。また、株主はリアル会場で実施されていた株主総会への出席時と同様に、インターネット経由で出席しながら、議決権の行使および質問を行うことができる機能に加え、拍手や動議といった議場への意思表示に関する機能を備えたライブ配信システムである。

加えて、株主総会の運営事務局の物理的・心理的な負担を軽減するべく、当日のライブ配信のサポートにとどまらず、開催企業が目指す株主総会のビジョンやシナリオの実現に向けて準備段階やリハーサル段階からサポートし、安心してオンライン株主総会を実施で

きるようブイキューブは支援するとしている。

※経済産業省：「産業競争力強化法等の一部を改正する等の法律案」が閣議決定されました

<https://www.meti.go.jp/press/2020/02/20210205001/20210205001.html>

■NTT ビズリンク：リアルタイムに 360° 空間を共有する VR サービス「AVATOUR (アヴァツアー)」の提供を開始

(6月11日)

NTT ビズリンク株式会社 (<https://www.nttbiz.com/>) (東京都文京区) は、リアルタイムに 360° 空間を共有する VR サービス「AVATOUR (アヴァツアー)」の提供を開始する。

AVATOUR は、没入感のある 360° リアルタイム空間を国内外の遠隔地にいる複数のゲストへ共有しながら、相互にコミュニケーションを行える新しいサービス。このたびこのサービスの提供のため、360° リモートプレゼンスサービスのリーダーである Avatour Technologies 社 (米国・カリフォルニア州) と日本国内で初となる販売契約を締結した。

- Point!**
- ・ホストは360°空間を手軽にリアルタイムで複数のゲスト向けに共有できます。
 - ・ゲストは画面をドラッグしたり、VRゴーグルで視線を移動することで、360°空間を自由に体験できます。



AVATOUR の仕組み (NTT ビズリンク)

AVATOUR は、「海外工場の稼働状況を視察したいが、渡航制限で訪問できない」「人と人との接触をできるだけ避けながら、遠隔地の雰囲気を感じたい」など、現場視察や設備点検、バーチャルツアー、オンライン内見などあらゆるシーンで利用できるとい

NTT ビズリンクとしては、本サービスに対するユーザからの意見などフィードバックを得ながら、継続的にサービスの機能拡充を図るとともに、AVATOUR のソリューションパートナーを広く募集し、ユーザの DX 化の促進に取り組んでいくとしている。

なお、同社によると、AVATOUR は、オンラインで行われる第 1 回 Japan IT Week (6 月 16 日~18 日) へ出展される予定とのこと。

※Japan IT Week:

<https://www.japan-it-online.jp/ja-jp.html>

■ソースネクスト：リモート会議向け製品の新ブランド「KAIGIO (カイギオ)」を立ち上げ、同時に 3 製品発表

(PRTIMES：6 月 15 日)

ソースネクスト株式会社 (<https://sourcnext.co.jp/>) (東京都港区) は、6 月 15 日よりリモート会議向け製品の新ブランド「KAIGIO (カイギオ)」を展開していくことを発表。同日より、リモート会議オールインワン端末「KAIGIO MeePet」、Web カメラ映像自動分割ソフト「満面 KAIGIO」、自動録画ソフト「全録 KAIGIO」の 3 製品を合わせて発表した。



KAIGIO は、「会議を、変えよう」を合い言葉に、会議のためのハードウェア、ソフトウェアを提案するブランド。KAIGIO が提供するものは、リモート会議に関連したソフトウェアや IoT 製品であり、複数の言語が行き交うグローバルな会議も視野に入るといふ。KAIGIO のマーク (左上

©SOURCENEXT CORPORATION) は地球全体のダイナミックな交流をイメージしたもの。

KAIGIO MeePet

3 製品のうちまず一つ目は、日本初の Zoom SDK を利用した、リモート会議ソフト、マイク、カメラ (500

万画素・広角 110°)、スピーカーが搭載されているオールインワンのリモート会議専用機「KAIGIO MeePet (カイギオミーペット)」。

持ち運びも可能なシンプルなデザイン。「Zoom」、「Microsoft Teams」、「Webex Meetings」に対応している。



オールインワンの KAIGIO MeePet、大容量バッテリー搭載で持ち運びもできる (本体重量 966g)

©SOURCENEXT CORPORATION

初期設定は Wi-Fi か LAN ケーブルでインターネットに接続するだけで、また、タッチパネル操作で会議 ID とパスワードを入力すればすぐ会議に参加できるもの。また Outlook のアカウントを連携すれば予定表を読み込み、会議予定を表示できる。さらに Zoom のアカウントを連携すればワンタッチで会議参加できる。予定毎に Zoom や Microsoft Teams、Webex Meetings の会議が混在していても共通の参加ボタンからそれぞれの会議に参加できるようになっている。

その他、会議を事前に知らせるアラーム機能、HDMI で大画面に出力、グリーンバックなしでのバーチャル背景 100 万種類以上 (「XSplit VCam」バーチャル背景エンジン搭載)、大容量バッテリー (5,000mAh) 内蔵、Bluetooth 無線接続、ヘッドホン・ヘッドセット接続などにも対応している。なお、大容量バッテリー使用での Zoom 会議は連続で 1 時間半から 2 時間程度可能という。

価格は 29,700 円 (税込み)。6 月 15 日予約開始、

発売は8月18日から。

満面 KAIGIO

満面 KAIGIO は、日本初の web カメラ映像自動分割ソフト。AI による顔認識技術でリモート会議の出席者をクローズアップし、最適な見え方にする。



満面 KAIGIO の機能例

©SOURCENEXT CORPORATION

今ある設備はそのまま、独自の AI 顔認識エンジンを用い、人物を自動でクローズアップ。また、会議室にいる人数や配置に合わせて自動で最適な画面に切り替わり、人物が移動しても自動追尾するようになっている。さらには、人物だけでなく場所を指定して認識させることでホワイトボードや商品などを固定して映すことも可能となっている。

ソフトウェアのインストール後は使用しているリモート会議システムのカメラを満面 KAIGIO に設定するだけで使え、都度設定をし直す必要はないという。

現在、Zoom、Microsoft Teams、Webex Meetings に対応しているという。今後、「Skype」や「Google Meet」などにも対応を予定しているという。

価格は、19,800 円（税込み）。ダウンロード版は8月26日から、パッケージ版は10月6日から。予約は

いずれも6月15日からとなっている。

全録 KAIGIO

全録 KAIGIO は、日本初の Zoom 会議を自動録画するソフト。会議を自動で録画するだけでなく、スクリーンショットも自動生成するため共有された資料をすぐに活用できるようになっている。主催者への申請なしで録画できるが、主催者側が会議の録画を禁止している場合などはルールに従って使用して欲しいと同社では説明している。

全録 KAIGIO は、Zoom での会議が始まると自動で録画を開始するため、操作が不要また録り忘れの心配もないという。ただし、他の会議システムはワンクリックで録画開始となっている。



スクリーンショット自動生成

©SOURCENEXT CORPORATION



サムネイルから再生

©SOURCENEXT CORPORATION

また、スクリーンショットを自動で生成（細かく設定も可能、手動も可能）したり、サムネイルからの再生や動画の編集機能（カットやトリミング）もある。

価格は 9,900 円（税込み）。ダウンロード版は6月

15日から、パッケージ版は7月30日（予約は6月15日開始）から。

製品・サービス動向-海外

■Zoom社：Zoom Phoneに対応したデスクトップフォン3モデルを発売

（Zoom blog：6月9日）

Zoom社（<https://zoom.us/>）（米国・カリフォルニア州）は、箱から直ぐに出してすぐに使える、Zoom Phoneに対応したデスクトップフォン3モデルの提供開始を同社ブログにて発表した。



Zoom Phoneに対応したPoly、Yealinkのデスクトップフォン3モデル（Zoom社）

Zoom社は、今回、カメラ付きの「Poly CCX 600」「Poly CCX 700」「Yealink VP59」の3つのアプリケーション端末モデル「Zoom Phone appliances」を提供する。箱から出して、セットアップしてZoomにサインインするだけで、高品質なビデオ、音声、およびコンテンツ共有が行えるようになっている。Zoom認定を受けている。

電話機能としては、発信者ID、通話履歴、ボイスメール、転送オプション、3者通話、通話ブロック、カレンダーの統合、コーポレートディレクトリなどがあり、一方、コラボレーション機能としては、ビデオ・音声通話のほか、ホワイトボード、コンテンツ共有、チャット（通話中）、録音、カスタマイズ可能なビューなど

がある。通話やビデオ会議でなじみのある機能をサポートしているという。

販売は、PolyおよびYealinkの正規販売代理店およびZoom Hardware-as-a-Serviceプログラムから購入できるようになっている。

導入利用動向-国内

■ブイキューブ：NTTデータが新設した個室メインのサテライトオフィス3カ所に個室ブース「テレキューブ」を合わせて77台導入

（6月4日）

株式会社ブイキューブ（<https://jp.vcube.com/>）（東京都港区）は、株式会社NTTデータ（<https://www.nttdata.com/jp/ja/>）（東京都江東区）が、2021年4月より順次開設された横浜、大宮、船橋の個室メインのサテライトオフィスに、個室ブース「テレキューブ」を77台導入したと発表。



横浜サテライトオフィスに設置されたテレキューブ
（株式会社オカムラと共同提供）（ブイキューブ）

NTTデータでは、コロナ禍においてテレワークの推進を加速しており、多くの社員は、週の大半をオフィス以外で勤務している。コロナ禍以前より、週1~2回は自宅や法人契約中のシェアオフィスで勤務している社員もいるが、働く場所への新たな要望が顕在化した。

横浜、大宮、船橋に新設されたサテライトオフィス

は、「テレキューブ」を中心に、リフレッシュスペースや半個室スペースも整備され、始業から終業まで過ごせる空間とされている。NTT データでは、サテライトオフィスを短期間で整備するため、個室ブースの構築工事やワークブース導入など複数の選択肢を検討した上で、テレキューブの次のような点を評価した。

(1) サブスクリプションモデル（月額）利用で、サテライトオフィスの拡大や縮小など柔軟性の高い取り組みが行える。

(2) 消防法をクリアしており、また空調設備が「テレキューブ」に完備されており、オフィス設置に追加工事が発生せず、短期間での設置が可能である。

(3) 周囲に話し声が聞こえにくい遮音性の高さ。

(4) 十分な広さがある机と疲れにくい椅子で長時間の業務を行える。

バイキューブは、NTT データでの導入事例を、ニューノーマルの働き方に対応する、合理的で柔軟性の高いサテライトオフィスの好例と考えている。今後も顧客のコミュニケーション DX の実現に向けて、さまざまな映像コミュニケーションサービスを提供していくとしていく。

※NTT データ導入事例：

<https://jp.vcube.com/case/23601.html>

セミナー・展示会情報

<国内>

■ヤマハ ウェビナー「効率的に Web 会議を準備&進行するコツを伝授！～Web 会議周辺機器のワイヤレス化と字幕/議事録作成講座～」開催のお知らせ

日時：6月25日（金）14:00～15:30

会場：オンライン

主催：ヤマハ株式会社

詳細・申込：https://sound-solution.yamaha.com/jp/webinar_202106

■オフィスに戻ったらどうなる？

ZOOM ROOMS ・ロジクールでつくるハイブリッドワーク時代の新しい会議スペース

日時：7月7日（水）14:00～14:45

会場：オンライン

主催：株式会社ロジクール・ZVC Japan 株式会社（Zoom）

詳細・申込：<https://info.logitech.com/0721-Logicool-zoom-webinar.html>

■バイキューブセミナー（6月～7月）

「【初級編】ウェビナー開催の“いろは”をご紹介」「これからのコミュニケーション環境のあり方とは」「実践企業が語る！スマートグラスを利用した遠隔作業支援の活用術」など

会場：オンラインセミナー／オンディマンドもあり

詳細・申込：<https://jp.vcube.com/event/all>

■Webex Meetings 関連ウェビナー（6月～7月）

「Webex Meetings の基本」「Webex Meetings の新機能」「Webex Events の概要、新しい機能のご紹介」など（録画も視聴できます）

主催：シスコシステムズ合同会社

詳細・申込：

https://www.cisco.com/c/m/ja_jp/training-events/events-webinars/collaboration-webinars.html

国内その他：<http://cnar.jp/cna/event-j.html>

海外その他：<http://cnar.jp/cna/event-r.html>

※イベント情報は随時情報が入り次第掲載しております。

CNAR.jp サイトの情報もご参照ください。

業界の動き

遠隔会議・UC 業界は日々さまざまな動きがあります。この定期レポートの発行は月2回（プレスリリースと取材に基づく記事のみ）ですが、CNA レポート・ジャパンでは、それ以外の業界の動きに関連した国内外の情報を日々皆さんと共有しています。皆様の情報収集のひとつとしてご活用いただければ有難いです。

■フェイスブック（遠隔会議&UCトレンドワッチ）

<https://www.facebook.com/unifiedcom>

■Twitter（CNA レポート・ジャパン）

<https://twitter.com/cnarjapan>

■メーリングリスト（dte-forum）

<http://cnar.jp/cna/dteforum-ml.html>

定期レポートバックナンバー

定期レポートのバックナンバー（1999年～最新号）は
下記で閲覧できます。

<http://www.cnar.jp/cna/cnareportarchive.htm>

CNAレポート・ジャパン 2021年6月15日号おわり

ホームページ: <http://cnar.jp> お問い合わせ: cnar@cnar.jp